
アート・クラフト学科

■アート・クラフト学科カリキュラムの特色

アート・クラフト学科では、絶えず変化し複雑化する現代社会に対応しうる広い見識と個性的な創造力を有する美術家や工芸家、あるいは教育者を養成するための多彩なカリキュラムを設置し、教育を行っています。

■ディプロマポリシー（学位授与の方針）

美術と工芸のモノづくりを基盤とし、オリジナリティのある表現、美術教育ではグループで行う協働の方法を身につけ、発信力があり創造性を有したと認められた者に学士（芸術工学）を授与する。

■カリキュラムポリシー

アート・クラフト学科では、現代社会において美術と工芸、あるいは美術教育に関する高い識見と技能、創造力と発信力をもつ自立できる美術家や工芸家、教育者を養成するという教育目標達成のため、1) 観察力と発想力、2) 基礎的な技術力、3) 個性的な創造力、4) 展示や情報発信力および協働する力を身につけることができるカリキュラムを設定している。

* コース

- ・ 絵画コース
- ・ フィギュア・彫刻コース
- ・ 美術教育コース
- ・ ガラス・陶芸コース
- ・ ジュエリー・メタルワークコース

* 年次における基本的な学びの流れ

- ・ 1～2年次：文化・芸術としての歴史や知識及び多様な素材や技法を体験することで美術と工芸の基礎的かつ多様な技術と表現の基礎を学ぶ。
- ・ 2年次～：文化・芸術としての歴史や知識を深化させるとともに、自分らしさを表現する高度な技術力を学ぶ。また2年次後半から5つのコースに分かれ、各自のテーマを追究する技術力や表現力を磨き、社会で求められる企画力や実践力を修得する。
- ・ 4年次：マンツーマンの指導によって高度な技術力を駆使した個性的な作品を完成させるとともに、プレゼンテーション力も身につける。

■カリキュラムフロー図 (2022年度入学生用)

	1年	2年	3年	4年
アート・クラフト学科	1年の達成目標	2年の達成目標	3年の達成目標	4年の達成目標
<p>○必修・講義 (基礎教育科目含む) △選択・講義 ●必修・実習・演習 (基礎教育科目含む) ■選択必修・実習・演習 ▽選択・実習・演習 () 基礎教育、芸術工学基礎区分科目のうち推奨するもの</p>	<p>前期には美術・工芸の基盤となる知識、文化、社会などの幅広い専門を、後期には加えて技術、感性などを理解する。</p>	<p>分野の基礎的な画材や素材としての表現力や造形力造りについて理解できる。</p>	<p>専門コースにおいて造形力を養い、課題発見やテーマを設定して個々の創造力が身につく他にマネジメントも経験する。</p>	<p>より専門性の高い技能と表現力を習得するだけでなく社会との関係性を踏まえた多様な事柄を知って自己確立できる。</p>
知識・コミュニケーション	<p>○アート・クラフト概論 (芸術工学概論)</p> <p>(スタディスキルズ) 学科入門セミナー (○基礎英語Ⅰ ○日本語表現Ⅰ) ●美術基礎実習 ●クラフト基礎実習</p>	<p>△工芸史 (現代美術) 演習 △模型・フィギュア造形演習</p> <p>▽美術工学教育論</p>	<p>▽美術演習 ▽造形論</p>	
専門的技能	<p>●美術実習A ●スケッチ素描・イメージ ▽ドローイング ▽彫刻基礎 ■クラフト実習A</p>	<p>■美術実習B ■絵画演習B ■クラフト実習B ○フィギュア技法 ■フィギュア・彫刻演習A 演習 ■ジュエリー・メタルワーク演習A ▽吹きガラス表現</p>	<p>■絵画演習A ▽日本画技法 ○フィギュア技法 ▽陶表現 ■ガラス・陶磁器演習A ■ジュエリー・メタルワーク演習A ▽版画表現</p>	<p>■フィギュア・彫刻演習B ■ガラス・陶磁器演習B ■絵画演習B ■ジュエリー・メタルワーク演習B ▽スタンドグラス演習 ▽ジュエリー技法 ▽釉薬技法演習 ▽金属造形演習</p>
汎用的能力		<p>■美術教育演習A ▽フィギュア表現 ▽宝飾表現</p>		<p>●卒業研究 ■美術特別演習 ■クラフト特別演習</p>
社会対応力			<p>■美術教育演習C</p>	

アートクラフト

アートクラフト